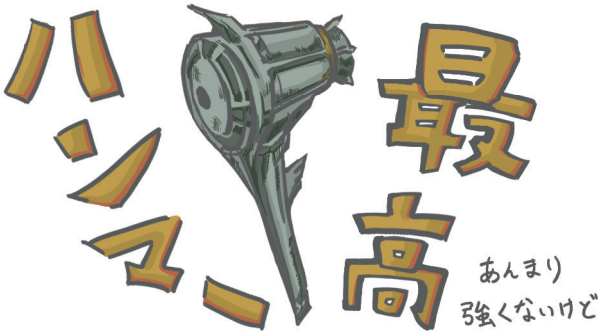
HARIO

HARIO SCI. NEWS vol.332

趣味は、ほどほどが１番

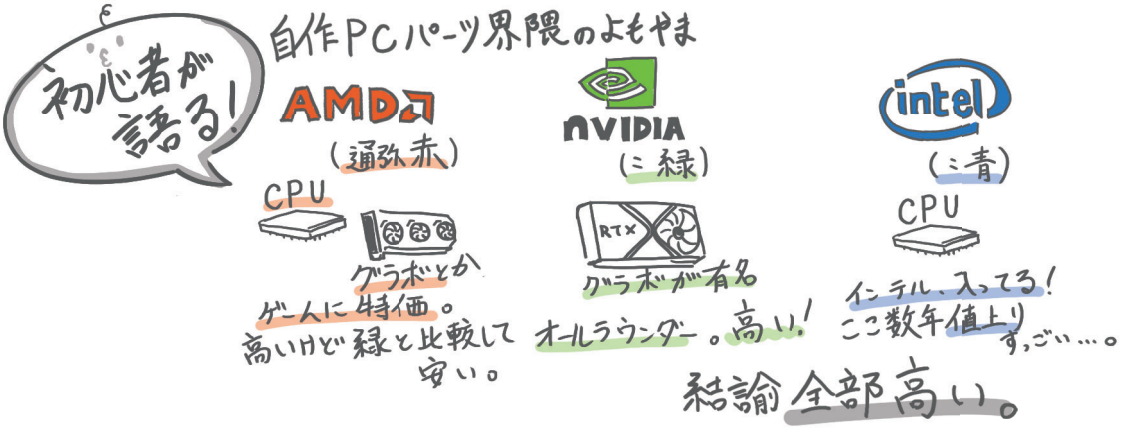
Written by Design Dept. Takashi Aoki

どうも皆様、近頃某モンスターをワイルドに狩猟するゲームにお熱な製作担当の青木です。学生時代、親から怒りの雷を何度落とされようとも、あの手この手でゲームをやり続けてきた私でしたが、ここ数年はゲーム自体に食指が動かなくなっていたため「そろそろゲームからは卒業かぁ」と感傷に浸っていましたが、ふと長年の友人から「久しぶりに遊ぼうぜ」と誘われた結果、オンラインで日夜ゲームをする生活へと回帰することになりました。一緒に遊ぶ友人が居れば、趣味に年齢はまだまだ関係無いのだなと、身に染みて実感している今日この頃です。



などと、ふわっとした落としどころの無い話が今回の主題ではなく、ある意味警鐘に近い話やもしれません…。冒頭で書いたゲームを含め、最近は専用のコンシューマー機だけでなくPCでもソフトを販売し、遊べるような体系となっている事が多い（主に海外市場狙いとして）のですが、今回私が遊んでいるゲームは近年稀に見るほど「グラフィック容量」が高く、並の性能のPCは快適に遊ぶことすら困難なタイトルとなっています。家で使っていたデスクトップPCは、元々仕事で使用するソフトウェアも円滑に動作できるように、そこそこの性能で組み上げていましたが、映像の出力を司る部品（通称グラフィックボード）を取り替えなければ、快適に遊ぶことが難しい様な状況でした。該当の部品を新調する運びとなりましたが、ここで私はある岐路に立つことになります。それは最低限スペックの品（6万円程）を選び画質を妥協して遊ぶか、それとも高品質品（15万円）を選びテッカテカの高画質で遊ぶか…。それはそれは熟考しました。5分くらい。

結局、私は高価な方を選んでしまったんですね。PC全体の一部、これさえあれば十分だからと。そこからの顛末は言うに及ばずではありますが、モニターや内蔵CPU、メモリなどなど。他部品もより良い物を、と欲しいものだらけの日々を過ごしています。こと趣味においては、ある程度の限度を設けていかないとダメですね…。



ハリオサイエンス 株式会社
〒103-0006　東京都中央区日本橋富沢町9-3
https://www.harioscience.com
TEL.03-6861-5602　FAX.03-6861-5603